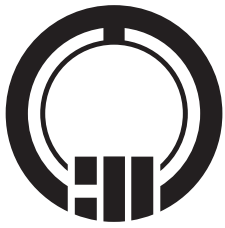


あなたと共にあゆむ



いまべつ

9月定例会

議会 だより



今別の魅力発信！ 函館市金森倉庫にて「津軽半島がっばど！フェスタ」開催

◇9月定例会できたこと（平成25年度各会計決算認定）……………	2
◇一般質問 4議員が登壇……………	3～7
◇議会活動報告……………	8～10
◇議会の動き（7月～9月）……………	10
◇編集後記……………	10

平成25年度 会計別の決算額

(単位：千円)

一般会計	歳入	3,128,979
	歳出	3,000,359
国保（事業）特別会計	歳入	536,801
	歳出	506,978
国保（診療）特別会計	歳入	163,668
	歳出	151,185
後期高齢者医療特別会計	歳入	51,974
	歳出	51,170
介護（保険）特別会計	歳入	474,820
	歳出	464,613
介護（サービス）特別会計	歳入	24,157
	歳出	18,094
簡易水道事業特別会計	歳入	141,048
	歳出	126,672
合 計	歳入	4,521,447
	歳出	4,319,071

第416回定例会が平成26年9月5日招集され、12日までの8日間の

平成25年度一般会計・特別会計決算を認定

9月定例会で
きまったこと

5日～12日

会期で開催されました。提案された議案は、平成25年度決算の認定7件、条例案5件、専決1件、人事1件、その他3件、平成26年度補正予算案7件、あわせて24議案を、いずれも原案どおり認定・同意・可決されました。

※認定された平成25年度の決算は、一般会計の歳入合計31億2千8百97万9千円（前年度比12・5％増）、歳出合計30億35万9千円（前年度比12・9％増）となりました。

条例関係

○今別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）第34条第2項及び第46条第2項の規定に基づき、制定するため提案するもの。

○今別町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

児童福祉法（平成22年法律第164号）の一部改正に伴い、今別町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を制定するため提案するもの。

○今別町家庭保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

児童福祉法（平成22年法律第164号）の一部改正に伴い、今別町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例を制定するため提案するもの。

人 事

○人権擁護委員の候補者の推薦について
田中良光氏（今別70歳）を推薦することに同意。

陳 情 書

○軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情（継続審査）

そ の 他

○青森地域広域事務組合規約の変更について

青森地域広域事務組合の共同処理する事務等の変更について協議するため、提案するもの。

○青森地域広域消防事務組合の解散について

青森地域広域事務組合との統合に伴い、青森地域広域消防事務組合を解散することについて協議するため、提案するもの。

○青森地域広域消防事務組合の解散に伴う財産処分について

青森地域広域消防事務組合の解散に伴う財産処分について協議をするため、提案するもの。

予算関係

○平成26年度一般会計

1億1千3百84万8千円を増額し、総額27億5千9百85万円

平成26年度補正予算の概要

(単位：千円)

会 計 名	補正額	補正後の額	補正の主なもの
一般会計	113,848	2,759,850	番号制度団体内宛名システム導入委託料 7,079
			道の駅増改築工事 30,000
			道の駅備品購入費 15,000
			予備費 13,470
国保（事業勘定）	21,052	570,501	賃金 4,959
国保（診療施設勘定）	13,097	165,966	医療事務処理システム機器賃借料 2,333
			予備費 633
後期高齢者医療	881	59,959	予備費 5,892
介護（保険事業勘定）	9,042	463,316	予備費 5,909
介護（サービス事業勘定）	6,278	24,046	簡易水道アセットマネジメント計画策定業務委託料 1,080
簡易水道事業	1,426	110,252	

町

政

を

問

う

一般質問

9月定例会では、4人の議員が登壇し、当面する町の重要課題について、町執行部の考えをいただきました。その主な内容を要約してお知らせします。

小鹿

勉議員



一次産業の振興について

質問

①業績別就業人口と年齢構成は、どのようになっているのか。一次産業の就業者は、高齢化して後継者不足となっているが担い手の育成状況はどうか。

産業建設課

農業については、担い手農家を中心とした農業者27人が水稲との複合経営で借地や作業受託などをしながら、町の全体の耕作面積の6割を支えている状況です。年齢構成は40代・50代の方が中心となっ

質問

②業績別の今後の振興策は、町長は、肉牛のブランド化

ていますが20代の若い後継者も育ってきており、明るい兆しも見えてきました。町では、国の農地中間管理事業を活用したほ場整備事業を支援して行きたいと考えています。

漁業については、組合員数が138人とこちらも高齢化が進み、70代以上の方が6割を占めており、脱退する人も多く年々減少しているのが実情であります。現在、藻場の機能回復の事業、種苗の放流事業や環境整備事業を行い漁業資源の回復と増殖に努めています。漁業不振は続いています。少ない水産資源を生かし付加価値を付けての商品開発と販売体制の取り組みを強化し所得向上と後継者育成に努めて行きたいと考えています。

町では、いまべつ牛の限定販売を推進し、いまべつ牛販売促進連絡会議を設置し、準備を進めており、現在、農家へ特別導入事業基金を貸し出し、繁殖農家の支援を行っています。将来的には肥育農家も支援しながら、いまべつ牛の提供と販売強化を進めた

町長

通年販売と常時提供できる体制が必要と考え、いまべつ牛販売促進

質問

③朝市に対して町の捉え方について、町は、朝市連絡協議会の組織メンバーになっているのか。前回の朝市は近年にないくらいの人出があった。町職員は、対策室、広報の4

企画課長

朝市の開設につきましては、今別町朝市開設連絡協議会が主催し、近年ではお盆と正月用品等販売向けに実施されてきました。

人いたが、買い物にきた職員は一人でした。今色々な新幹線のイベントをやっているが、イベントとして捉えていただきたい。これから「アスクル」の再開に向け、検討するべきだと思う。

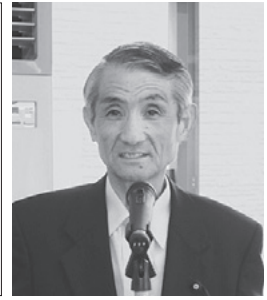
この時期については、多くの帰省客の皆様が地場産品が受け入れられているものと考えており、それ以外の時期については、「なまわも」において販売を進めているところがあります。

ご質問の朝市に対する町の捉え方については、行政も含めた協議会に加わる多くの団体がともに連携し、商品管理やPR方法など多くの課題を関係機関とともに克服し、魅力的な商品構成とすることが一層の集客率の向上につながり、多くの誘客が可能になると思います。



(朝市で賑わっている様子)

中島 邦彦 議員



公共施設利用状況について

①わが町にいろいろな公共施設があります。町立体育館は、解体する予定となつています。町では町民ひとり一スポーツと掲げてきました。そのよう

なことから体育館は必要だと思いますがいかがですか。また、眺海の森林に体験交流センター、スキーハウスなどいろいろな公共施設があります。7月に東部議員健康セミナーが当町で開催されました。研修室を窓ごしに見たところ、物置のように見えました。こんな使用状態でいいのか伺います。

企画課長

現在活用中の施設の中で、眺海の森林交流センター

は、ケビンハウスの受付施設として、平成25年度実績では、年間462人、海峡の家は、429人、荒馬の里活性化センターは、1,711人、開発センターは、5,050人の方々にご利用いただいております。人口減少などにより、どの施設も利用率の大幅な向上は難しい状況ですが、経費の削減などにより、維持管理費の圧縮に努め、効率的な運用を図っているものであります。

大泊地区内の防風柵について

質問

①立木を伐採したので地域の人から海からの吹き上げる風がすごい、防風柵の高さがあれでいいの

か。あの高さではまったく風よけにならない。地域の人たちと話し合いをしてほしかったといっています。また、現在防風柵のない箇所はどうなるのか。なぜ民家のない所に防風柵を設置したのか。また工事は本年度で終わるのか。来年度も継続するのか伺います。

産業建設課

6月議会でも答弁しておりますが、防風柵の高さについて、県では治山事業で施行する防風柵は事業的にもこの工法が限界であると答えています。道路

用の防風柵ほどは高さがありませんが効果は十分あると思います。県では治山工事の工法では転落防止柵が対象となり、防風柵は対象外と言われてきました。しかし、その後の要望で防風柵の設置場所の用地関係者から了解が得ることができれば、木々の伐採された全区間の防風柵の設置を考えてもいいですという回答をいただきましたが、県単事業であり、予算的にも今年度での全区間の施行が困難なことから、来年度で完了したいということであり、これから状況を見ながら問題があれば対処していきたいと考えています。

観光地、施設について

質問

我が町では、神社(八幡宮)、岩木山寺院(本覚寺、

正行寺、観音様)、高野崎、鍔釜崎などの観光地名所地があります。観光施設等の整備はどうなっているか伺います。

企画課長

観光施設については、道の駅いまべつとトンネル広場の改修工事が今年度の事業として計画されております。また、津軽国定公園内の高野崎や鍔釜崎の観光地については、大規模な工事の計画はないものの、危険箇所の改良や老朽化した炊事施設の改修など順次整備を進めております。さらに、高野崎周辺の景観上の障害となつている樹木の伐採などにも着手しております。既存の施設を活用しながら、町内においてになった観光客の皆様が心地よく過ごすことができ



(危険箇所の改良を進めている高野崎)

質問

②観光地、景勝地めぐりのコース設定は何コース設定しているのか。

企画課長

町内においてになった観光客の皆様に對する、各種観光コースのうち、町内の神社、仏閣等のまち歩きコースにつきましては、現在組織されている今別町観光応援隊が対応できるように研修を積み重ねているところであります。観光地や景勝地めぐりのコースについては、北海道新幹線の開業による効果を最大限享受できるような、2次交通の整備と併せて設定してまいりたいと考えております。

質問

③町内に使用禁止となつているトイレが何ヶ所かあります。悪臭がひどいと観光客から聞かれます。なぜ使用出来ないのか。

企画課長

町で管理する公共トイレについて、一部は使用休止中のトイレがあるものの、休日を除き、ほぼ毎日清掃作業を行っており、快適な環境づくりに努めているところであります。ご指摘のさざなみ公園トイレは、冬期間閉鎖後毎年

質問

④北海道新幹線が開業し、津軽いまべつ駅に降りてもゆっくり休むところもない。泊まるところもない。温泉掘削の前回のアンケートでは、40%以上の町民が賛成したと記憶している。温泉施設と福祉施設を一緒にした複合施設として建設できないかもう一度アンケート調査をしてみてはどうか。

町長

温泉開発事業については平成22年度に検討いたしました。事業実施の是非については町民アンケートの結果、計画が中止となった経緯があります。施設の運営方法により、変動はあるものの年間に相当金額の赤字が見込まれるという懸念から、4割強の町民の皆様が建設に反対とされたものです。町民の皆様からは、温泉施設や保健・宿泊施設等を望む声もあることは承知しておりますが、町の財政は安定しているように見えるもののまだまだ不安定要素も多く、以前として厳しい財政状況に変わりはありません。温泉掘削につきましては、現段階では、事業実施は困難と考えています。

住宅リフォーム助成について

質問

①わが町は、高齢化が進んでいますが、新築住宅がなかなか出来ない状況にある。また、消費税増税による景気の減退が予想される中で「業者も住民も地

域も元気になる」同制度が必要でないかと思うが。

産業建設課

この質問についても6月議会で答弁しておりますが、当町では現在、浄化槽設置整備事業補助金として町単独で30万円を上乗せして助成しており、県下では当町だけとなっております。これは、町単独の住宅リフォーム支援事業と捉え助成しています。

入江 奨 議員



町としての郷土芸能荒馬まつりの取り組みについて

質問

①新幹線開業にあたり、毎年恒例の荒馬まつりを町挙げての取り組みとして、どのように位置づけているか。

町長

「荒馬」については、新幹線開業と併せて今別町を町内外にPRできる貴重な財産として、認識しており、町の元気、地域経済の活性化を図るために必要なものと考えております。今年度につきましては、今別と大川平の両保存会に協力をいただきながら、東京での観光セミナーや、函館市の金森倉庫ステージにおいて、「津軽半島がつばど！フェスタ」を開催します。また、10月には、「東北復興大祭典なかの」には、昨年に引き続き参加します。1月には東京ドームにおいての全国的祭典があり、青森市の呼びかけにより参加を予定しております。その他さまざまなイベントに参加しながら、荒馬のもつ魅力とともに今別町や新幹線についてPRできる最高の素材として活用させていただいているところでもあります。

質問

②教育委員会は、8月4日～7日の荒馬まつりの取り組みが世代継承となる児童・生徒が在籍する小・中・高校に対して、町挙げての取り組みとして働きかけているのか。東京の和光小学校は児童・親合わせて100人ほど、自費で毎年来ているのに、地元学校の荒馬まつりに対する取り組みはどうなっているのか。

教育長

現在、学校における「荒馬まつり」を含めた郷土芸能への取り組みは、小・中学校においては、総合的な学習の時間等に位置づけ、保存会の皆さんの協力を得て、郷土芸能「荒馬」の伝承活動や学習に取り組んでおり、運動会や文化祭、町の秋まつりなどにおいて、その成果を披露しております。教育委員会としては、校長会とおして、「荒馬まつり」への参加協力をお願いしてきており、各地域での活動に協力いただいているものと思っておりますが、今年の7日日、部活動のために地域での活動に参加する児童が少なかったというところで、協力依頼が学校現場にきちんと行き届

いていなかったことなどを踏まえ、各地域での運行情報を把握し、学校に提供しながら、今後の取り組みの強化に活かしていきたいと思っております。

質問

③以前役場職員に祭り休暇があり、役場職員の荒馬まつりを様々な形で盛り上げていた話を聞いています。ねぶた運行で役場の前を通り、中をのぞくと祭り関係ないような雰囲気の仕事をしている職員を見かけました。ねぶたの担い手が極めて不足している中で、役場職員の参加者は、少なく、町が丸として取り組んでいるとは思えない。荒馬まつりを町としてどう盛り上げていくのか。今後の具体的な取り組みについて答弁を求めます。

町長

ご指摘の荒馬まつりの休暇については、「祭り休暇」は、特段なかったと思います。これまでも職員がねぶた祭りに参加する際は、個人個人が積極的に町内会や子ども会などのねぶたに参加協力してお



(今別荒馬保存会のねぶた運行の様子)

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるために

質問

①社協が取り組んでいる今別町ほのコミュニティ推進事業の中で、ほの

り、祭りの会場づくりの準備等についても、各担当業務に支障が出ないよう配慮しながら全庁的に協力しております。祭りを継続し盛り上げるためには、主催団体の観光協会をはじめ、各地区の参加団体等と更なる協議を重ねながら、一人でも多くの参加者が確保できるようにお願いしながら、役場職員も全員参加の体制を構築し、祭りを盛り上げていく必要があるものと考えております。

ぼの交流事業の協力員の確保が地域により難しくなっているというが、現状はどうなっているか答弁を求める。

②ほのぼのコミュニティ21推進事業は、在宅高齢者の福祉サービスの一環としての近隣ネットワークの強化を目指しているが、現状はどうなっているか25年度の実績を踏まえて、答弁を求めます。

福祉長
町課

ほのぼの交流事業の協力員の確保についてですが、

平成25年度の協力員は44名いましたが、高齢化等でなり手がなく、今年度は、町ボランティア協議会会員にお願いしているとのことでした。次に近隣のネットワークにつきましては、いわゆる見守りネットワークについてですが、「町内会、協力員、民生委員、社協」の協力者レベルの検討会が2回、「町、包括、社協、社会福祉施設等」の実務者レベルの連絡会議は10回開催されています。高齢者からの緊急連絡などの実績はないとのことでした。

質 問

③25年度の福祉灯油と在宅高齢者等除雪支援事業の実績と今年度の取り組み予定について答弁を求める。

福祉長
町課

両事業の実績についてですが、福祉灯油事業につき

ましては、262件、1,911,478円を助成し、高齢者の除雪支援事業につきましては、延べ399件の除雪作業と220件の訪問をしています。次に今年度の取り組み予定ですが、除雪の支援事業につきましては、当初予算で社協への委託事業として予算化しています。福祉灯油の助成につきましては、今後の灯油価格の動向、財政状況などを見ながら検討して行くこととしています。

役場の職員体制について

質 問

①町の将来を左右する新人職員の研修の取り組みの現状について答弁を求める。

総務課長

採用された年に青森県自治研修所において、前期と後期の2回に渡り、初任者研修を受講させております。町単独での研修としては、「奥津軽いまべつ駅」開業に向け、「青森ねぶた」や「荒馬まつり」等でのPR活動に積極的に参加させています。また、4月からは水道のメーター検針を行わせておりますが、高齢者世帯の安否確認等担当以外の分野であっても、視野を広げることが出来るようになるかと考えております。新採用職員に対する研修の考え方は、専門の研修機関を利用しながら、町単独としてはさまざまな経験の場を数多く提供し研鑽させ、町づくりの中心となつて活躍できる職員の育成を目指しております。

質 問

②役場職員が適材適所で、最大限に能力を発揮し、就いた職場で活躍が出来るような人事異動が求められるが、町長が職員の定期異動させるポイントをどこにおいているか。

総務課長

議員が言われた「適材適所」「最大限の能力の発揮」ができる人事異動ということですが、人事異動だけで100%カバーできるものではなく、最も大切なことは、個々の職員の自覚と考えております。保健師や看護師などの専門職員として採用された以外は、一般事務に従事することになります。多種多様な事務のどの分野にでも配属されることを承知の上で、今別町職員となったもので

す。一般事務職員は、どの部署であっても、「事務」という技術を提供し、対価を得る」これが基本であり、全力で取り組み結果を残すことが私たちの仕事であり、個々のわがままは許されるものではありません。しかし、誰にでも得意な分野・不得意な分野がありますので、これらを踏まえながら全体のバランスを最大限のポイントに人事異動を行っております。

質 問

③農業、漁業、林業、畜産などの一次産業のどの分野においても、担当職員に深い専門知識が要求される。役場職員は、雇用の確保とそれぞれの一次産業で町おこしができる指導的な役割が求められています。それらのことを十分配慮した上で定期異動がされているのか。

総務課長

経験と知識は、一次産業だけではなく、福祉や税務分野等すべての仕事に言えることであると考えております。一般的には同じ仕事を長く担当することにより、その分野の知識を多く得ることになります。反長ければ良いとは言いかねる部分もあり、本人の自覚が重要な意味を持つております。しかし、一次産業の振興は町にとって重要な課題でありますので、このことを含め、職員が一生懸命取り組み能力を発揮できるような体制を構築できるように取り組んでまいります。

安倍内閣の暴走について

質 問

侵略戦争への痛みの反省の上に立つた戦後日本の歩みをあからさまに否定しようというのが安倍政権です。集団的自衛権の行使容認、秘密保護法の強行、来年10月からの消費税の税率10%への増税は、直ちに断念すべきです。以上のことを踏まえ、安倍内閣の暴走についてどのように考えているか。

町 長

今、国がなすべき事は、地方の人口減少対策や超高齢化社会への福祉政策等をしっかりと行いたい。国を挙げて、地方創生に真に取り組まなければ、地方あるいは、過疎地域は消滅します。金を配って地方を元気にする時代は終わりました。これからの地方再生は人材育成であり、人づくりと職場づくりだと思います。

福士 和比古 議員



広域消防の庁舎建設について

質問 今別分署の壁を見ると全体的にヒビが入り、今にも崩れ落ちそうでありま

す。最近救急車の出動も頻繁になっており、中にいる職員は不安な思いで毎日を過ごしているものと思います。住民の生命と財産を守るべく大切な場所です。一日も早く建て替えるべきと思いますが、町長の答弁を求めます。

町長

今別分署は、昭和47年11月に建設され、年数も経過し老朽化が進んでおります。救急車の出動、災害時等に迅速に出動しなければならぬ重要な施設であり、修繕を含めての対応が必要と思います。

青森地域広域消防事務組合の資料等によりますと、新城分署の例では、建築費が約4億2千万円と見込まれていますので、財政運営計画に計上

されている様々な事業との調整を図りながら、議員の皆さんの意見を拝聴し、外ヶ浜町・広域消防事務組合と協議してまいります。



(早急の建て替えが望まれる今別分署)

空き家対策について

質問

各地区に非常に空き家が増えております。老朽化しているものが多く管理が行き届いていないので、美観も損ねております。特に冬の降雪で倒壊する危険性があります。なかに対策を考えているのか伺います。

総務課長

今別町の空き家は、平成25年3月現在で約170件

となっており、現在の空き家は危険度が年々高くなり、件数も増えることが予想されます。具体的な対応策として、「正確な空き家件数の把握」「危険度のランク付け」「空き家台帳の整備」「防災用の図面への表示」「条例の整備」「解体支援の検討」など

後期高齢者の地域包括ケアプランについて

質問

団塊の世代が75歳になると、5分の1が後期高齢者になり、いまだ経験のない超高齢者時代がくるというデータが出ています。75歳以上が増え続けられ、病院が患者を受けきれない状況になり、現在でも県病や市民病院はすでに紹介状がなければ受診できない状態であり、10年後どのようにして高齢者をケアしていくのか、そのプランを伺います。

の作業がありますが、今別町に適した対応について、関係部署と協議を進めてまいります。

町民福祉課長

国でも2025年を見据え、医療・介護サービスの提供体制の改革を進めようとしています。現在、県などの情報としては、病床機能の分化と連携ということ、高度医療病院、急性医療病院、回復期医療病院、慢性期

日本一の短命県について

質問

青森県は平均寿命が全国最下位であり、反対に塩分の摂取量は全国トップクラスであり、脳卒中による死亡率も全国で上位となっております。脳卒中の4分の3は、脳梗塞であり、主に高血圧、糖尿病、高脂血症、肥満、喫煙、飲酒などからくる動

脈硬化です。成人病が増えることは国保医療の負担が厳しくなり、予防医療に取り組むことが非常に大事になると思います。現在、町として進めている予防医療について伺います。

町民福祉課長

生活習慣病の予防については、早期発見と予防のため、特定健診を年7回行い、健診後、保健指導を行っています。その他、年間通して、保健師や栄養士、歯科衛生士などによる各地区で行う健康教育や訪問による健康指導などを夜間に実施するなど、本人の希望に合わせた形で、町民の方々がいつでも相談できる環境づくりに努めています。



議会活動報告

県下町村議会議員研修会

「道州制について学ぶ」

7月10日、県下町村議会議員研修会が青森市民ホールで開催されました。講義の前身では、地方分権・道州制で暮らしと地方自治はどうなるか非常に関心がありました。そもそも道州制は、国の役割を外交や防衛などに限定し、県単位をなくして福祉を地方と住民の自己責任に押し付けるものです。全国町村会は断固反対の立場で、全国の8割を超える町村議会で反対の意見書が採択さ

れ(今別町議会もすでに採択)、県町村会でも、道州制反対を明確にした研修会となりました。特に「平成の大合併」の教訓として、財政悪化や行政サービス・自治機能の低下などが明らかにになり、道州制を導入すれば、全国統一の基準で国が責任を持つべき社会保障や医療が崩壊し、合併が再燃し、財源の偏在で多くの道州は立ち行かなくなることを学びました。

(報告者 入江 奨)



(道州制について講演する大森彌氏)

東津軽郡町村議会議員 健康管理セミナー

「蓬田村優勝！」

今別町2連覇ならず！

7月14日、平内町、外ヶ浜町、蓬田村、今別町の4町村で構成されている平成26年度東津軽郡町村議会議員健康管理セミナーが今別町で開催されました。第1会場の開発センターにおいて、血圧測定、開会式、準備体操が行われました。その後、第2会場の眺海の森林ウッドパークに移動し、4町村対抗パターゴルフ大会を開催され、各町村議員との交流と親睦を深めることができました。昨年優勝した今別町議会は、2連覇を目指しましたが、残念ながら、4位でした。周りから、応援する声や笑い声が聞こえ、楽しい汗をかきました。

(報告者 中島 邦彦)



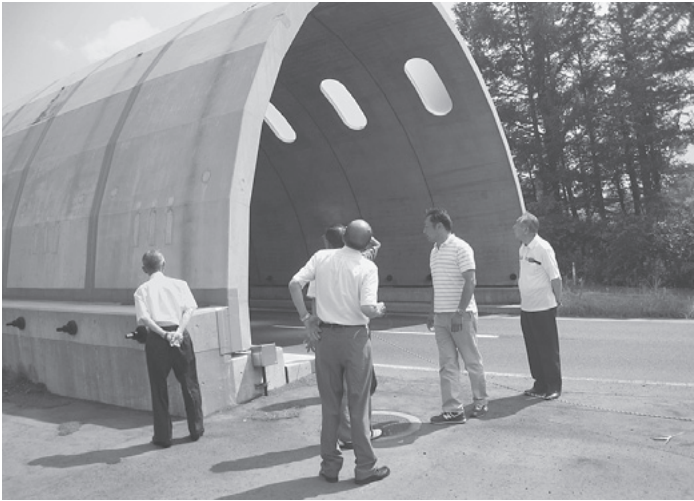
(ナイスショット！ 島中議長)

スノーシエルトー視察研修

小国峠の早期改善に向けて

7月29日～30日、以前より早急な改善が望まれる小国峠の安全性や利便性向上の対策検討の一環として、黒石から安比、八幡平、大釈迦地区に設置されているスノーシエルトーの現地視察に行っていました。実際のスノーシエルトーは、材質はコンクリート製や銅製のもの、天窓のあるもの、片側が開放になっているもの等多様多様でした。今回の視察内容を踏まえ、設置場所に合った材質、形状、延長等がこれからの検討課題です。いずれにせよ、急こう配の多い小国峠の早期の改善が議員一同の強い要望でした。

(報告者 明田 平苗)



両常任委員会先進地視察研修

8月20日～22日 千葉県、東京都

2泊3日の南房総と東京の研修に参加し、私は、主に生鮮食品等に興味を持っていました。最初は成田山新勝寺に行き、ボランティアガイドの案内で見学し、参道の店にはきゅうりの鉄砲漬が所せましと並んでいました。

2日目は南房総の道の

駅めぐりをし、鴨川オーシャンパークは広大な敷地のわりに野菜等は見当たらず、菓子等の土産品ばかり並んでおり、お客様もまばらでした。次のローズマリー公園のはなまる市場には、特産物が沢山あり、価格も安く、きれいに陳列され、ここでは、お客様もたくさん



(千葉県ローズマリー公園はなまる市場の様子)



(東京臨海広域防災公園オペレーションルーム 視察風景)

買物をし、活気がみられていました。ちくら潮風公園は、魚市場があり、新鮮な鮮魚が売られています。その後、富浦枇杷倶楽部は野菜が高く、目を見張りました。

最終日は朝4時半に築地市場でマグロのセリを見学、三厩マグロも並べられ、5時半になると、

一斉にセリが始まり、次々とマグロが卸されていきました。最後に東京臨海広域防災公園では、国の緊急時の対応施設見学と、震災後、72時間で自分の命をどう守るかシミュレーションし、研修を終えました。

(報告者 小鹿 勉)

町村議会広報研修会

わかりやすい広報づくりを

目指して

8月28日、県共同ビルにおいて、青森県町村議会広報研修会が行われ、当町から広報委員3人、事務局1人が参加しました。広報・編集コンサルタントの芳野政明氏の講演から始まり、第2部では実際の議会広報誌を使つてのレクチャーが行われました。地方議会や議員の在り方が注目され

ている今、これまで以上に読まれ、親しまれ、議会活動の伝わるような広報にしていくな必要を感じました。当議会においても、今回の研修内容を反映させ、わかりやすく、町民に興味を持ってもらえるような広報誌づくりをしていきたいと思っています。

(報告者 福士 直治)



(真剣な表情で講演を聞く委員)

議会の動き

26年7月1日～9月30日

7月	5日 青森今別会定期総会 (青森市)
10日	県下町村議員研修会 (青森市)
14日	東郡議長会健康管理セミナー (今別町)
18日	例月出納検査
22日	議会広報委員会
22日	算監査
29日	スノーシェルター視察研修 (沖揚平・安比・大釈迦)
8月	4日 荒馬まつり合同運行参加
11日	東郡議長会役員・事務局長会議 (青森市)
15日	今別町成人式
18日	例月出納検査・財政健全化審査
20日	両常任委員会先進地視察研修 (千葉県、東京都)
28日	町村議会広報研修会 (青森市)
9月	2日 議会運営委員会
2日	平成26年度国道280号バイパス建設及び整備促進期成同盟会総会 (外ヶ浜町)
2日	外ヶ浜地区交通・地域安全総決起大会 (今別町)
4日	東郡議長会役員・事務局長会議 (青森市)
5日	第416回9月定例会
16日	議会広報委員会
18日	例月出納検査
26日	第33回今別町社会福祉大会と平成26年度敬老の集い

議会を傍聴しませんか

町の動きを知るよい機会です。
多くの方が町政に関心を持ち、議会を傍聴することが議会活性化の一つです。
みなさんの傍聴をお待ちしております。

(詳しくは 議会事務局まで)
TEL 0174-35-2001

12月定例会の予定

11月28日 開会・議案上程
11月29～30日 休会
12月1日 一般質問
12月2～3日 議案審議

【日程は変更されることもありますので
議会事務局へお問い合わせください】
TEL 0174-35-2001

編集後記

長野県御嶽山の噴火で亡くなられた方々に、謹んで哀悼の意を表します。
また、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

○リーダーの強き一念は地域を変え、地域が変われば人心も変わる。

○みんなで頑張ろう。みんなで知恵を出して、我が郷土「いまべつ」を変えて行こう。

議会広報委員会では、町民の皆様の町づくりに対するご意見・ご要望の投稿を募集します。

議会広報委員長

福士和比古

議会広報委員会

委員長…福士和比古
副委員長…入江 奨
委員…福士 直治